



コロナ禍と障害者支援Ⅱ

今年は、コロナ禍で対外的行事は殆ど取り止めとなりました。夏祭り、盆法要、運動会、皆取り止めです。しかしこれは父兄家族も加わっての従来の催し物をやめたのであって、学園やG・H独自では開催しました。利用者と職員のみです。小ぢんまりと行った？とんでもない大々的に盛大に行ったのです。

夏祭りは園庭を利用しましたが、かき氷、射的、ヨーヨー釣り、もぐらたたき、お菓子引き、ボール転がし等々の屋台が出て利用者はそれぞれを楽しみ神社の屋台を巡るような様子で非常にざわめき喜んでいました。若手の職員による、ソーラン節の集団演舞がなされ、利用者有志のエビカーニクス、ジャンポリーミッキー等のダンスが披露され共に見事な出来でした。日頃、日光を嫌い人との接触を嫌って、部屋の窓を閉め閉じこもっている自閉症

第149号

発行所
社会福祉法人玄洋会
指定障害者支援施設
昭 和 学 園
〒811-3522
福岡県福津市奴山616
TEL (0940) 52-4686
<http://www.genyoukai.or.jp/>
E-mail: syouwa@mocha.ocn.ne.jp
福岡県障害児等療育支援事業
【地域支援室】
児童・学童発達支援事業「さくら」
日中一時支援・短期入所受付
TEL (0940) 52-8551

障害福祉サービス事業所
【やまと更生センター】
福岡市東区知的障がい者
相談支援センター
福岡市東区三吉8-105-1
TEL (092) 607-3778

児童発達支援センター 障がい児通園喫茶
【曹子とも発達センター・さくら保育園】
糟屋郡篠栗町尾仲1100-3
TEL (092) 948-4468

障害福祉サービス事業所
【浜千島】
宗像市神湊118-4
TEL (0940) 62-1167
共同生活援助事業
【ケアホーム若杉】
糟屋郡篠栗町中央6丁目32-1
TEL (092) 931-5011

障害福祉サービス事業所
【宝 満】
糟屋郡粕屋町酒殿1-23
TEL (092) 652-1005

児童発達支援センター
【藤野とも発達センター・さくら館】
福津市福岡南3-5-8
TEL (0940) 42-1235

【ゆうゆうぶらざ】
宗像市神湊118-4
TEL (0940) 62-5777

共同生活援助事業
【グループホーム安ら居】
福津市奴山606
TEL (0940) 62-5056

編集責任 山田 正道

の女性利用者も笑顔を見せ、集団の中に出て来ましたから「集団で楽しむ」というのは強いインパクトがある事だと感じました。

打って変わって、盆法要では例年よりも厳粛に行われました。御住職様の読経も説教も念の入ったものでしたし、焼香の際も進行係が「〇〇家、御焼香」と叫ぶと、利用者は引き締めた顔でスツクと立ち上がります。焼香と拝礼もちゃんと型通り出来た利用者が殆どでした。亡くなられた保護者もさぞ安心されたと思います。

運動会も秋晴れの下、芝生広場で開催されました。演目こそ少し違っていましたが、開始時の準備体操から皆のやる気満々の空気に圧倒されました。最後は圧巻のとり、利用者によるリレーで選抜された選手のみが走りまです。玉入れその他、小学校の運動会のようなのかなかに、紅白分かれての対抗意識も垣間見られました。優勝は紅組でした。業務執行理事から賞状と優勝旗をもらいながら、殆

どの紅組の利用者は万歳を叫んでいました。紅組の勝ちにこだわる自閉症のA君も満面の笑みでした。

楽しい事ばかりではありません。コロナの力が静まらないので、職員、利用者は手洗い、手の消毒、うがい、検温は毎日続けています。来訪者も原則として館内には立ち入りを禁止しています。対コロナの学習や看護演習も繰り返しましたし、いざ罹患者が出た場合の対応に当たる看護部隊の編成を行いました。今までのところ感染者は出ておりません。このまま終息すればいいのですが、今年の12月までに国から終息宣言が出ると思われませんが、12月のメインイベント「令和祭」は中止させていたただきたいと思えます。職員には慰安旅行はおろか、飲みに行くことさえ一部禁止しております。

春が来ない冬はありませんで、保護者の皆様も今ひとときの辛抱をお願い致します。

(楠 峰光)

特集1

コロナ社会各事業所の現状報告

保護者会からは皆が大変なこの時期を乗り越えることができるようにいつも応援して頂いております。運動会は夏祭り同様、利用者と職員の実施でしたが1人1人が輝いており主役でした。皆にとって昭和学園が生活の場です。この状況を受け入れ、感染予防を徹底し、その上で最大限に楽しむように工夫しています。

10月は待ちに待った帰宅です。一泊ではあります。ですが存分、大好きなご自宅で大好きなご家族と充実した時間を過ごして頂きたいと思っております。

新型コロナウイルス感染者が減少傾向にありますが油断せず、インフルエンザが流行するこれからの時期、常に感染予防対策には厳しくあり続けたいと思えます。

(昭和学園 綱脇)

コロナ禍により、さまざまな行事が中止になり、生活にメリハリが無くなってしまっている感じがあります。そこで、暑い夏も終わり、外が過ごしやすくなりましたので、芝生広場でダンスやレクリエーションをしたり、芋掘りをしたり屋外の活動機会をつくりました。

また、運動会の代わりに「ダンスオリンピック2020」と題し、密に配慮したレクリエーションを企画しています。工夫しながら、楽しい毎日を過ごせるようにしていきたいと思えます。

(やまご更生センター 松井た)

生活介護では8月より、宝満館内で通所利用者やケアホーム利用者のグループ編成を行い、それぞれのグループ毎に活動を実施しています。利用者の中では、短い期間で環境が変わること、戸惑いや不安を持つ利用者もいました。今はこの環境に慣れつつも利用者から新型コロナウイルスについて、「いつまでつづくのか」「自粛いつまでなのか」等確認してくることがあります。職員も毅然とした態度で、利用者が不安にならない様に対応し、利用者の不安をなるべく払拭できる様に心掛けながら日々の支援を行っています。

また、コロナ禍で法人全体での行事(夏祭り・運動会)が中止になりましたが、規模を縮小しながらも、館内で夏祭りやミニ運動会を実施し、利用者が楽しんでいました。

職員自身も健康に気を付け、利用者の安全、制限がある活動の中にも充実して過ごせる様に今後努めていきます。

放課後等デイサービスでは7月下旬から8月上旬にかけ、関係する学校職員に新型コロナウイルス感染症陽性が判明した為、その学校に通学する利用児に一定期間、利用自粛依頼をしました。結果事なきを得て、利用児・職員とも新型コロナウイルスに影響されることなく過ごしています。今後引き続き感染予防に努めていきます。

(宝満 山田ひ、南)

連日、新型コロナウイルス関連の報道がされています。それらは正しいもの、間違っているもの、過剰なもの等様々で入居者もテレビ等で見ているようです。

コロナ禍で生活の変化もあり、加えて連日の報道等で不安が増している方、ウィルスを擬人化し「やっつけるよ」と鼓舞する方、「コロナ終わった？」と毎日全職員に確認する方等、受け取り方や表現は様々です。

私達支援員は正誤に関わらず過大な情報や報道から入居者を守り、安全な環境で安心して生活することができるよう尽力して参りたいと思えます。

(ケアホーム若杉 中霧)

福岡県下においては感染状況が拡大する時期を脱し、人心地ついた感があります。しかし浜千鳥では気を緩める事なく、感染予防対策に継続して取り組んでいます。館内・公用車等の消毒・換気は勿論、密着介助時のフェイスガード着用、職員に家庭でも不要不急の外出自粛・マスク着用を徹底させ、感染リスクを零に近づけるべく鋭意努力しています。活動における3密の回避についても、これまでの実践を通して、利用者の皆さんに新しい習慣として定着しています。環境の変化があっても利用者の皆さんは毎日笑顔で過ごされています。今後の感染状況の推移に注意を払い、状況に即した対応を行っていききたいと思えます。ご理解ご協力の程、よろしくお願ひします。

(浜千鳥 野元)

館内消毒や定期的な換気、うがい・手洗いの励行等、徹底して感染予防に努めています。また外出や帰宅が自粛される中、週末には外出の気分が味わえるよう、カフェなどの模擬店を開いたり、葉書や電話などを活用して連絡を取り合ったりしてきました。このような状況でも安心して楽しく過ごせるよう工夫を凝らし、支援してきてきました。これからも安全で快適に過ごすことができるよう努めていきます。

(安ら居 市津)

特集2

夏祭り

昭和学園

令和2年7月31日に「昭和学園夏祭り」を開催いたしました。学園と安ら居の利用者さんのみの参加となりましたが、暑い中皆さん楽しまれました。模擬店では、



お菓子すくい・ヨーヨー釣り・ボールころがしなどを行いました。様々な模擬店がある中特に、かき氷と射的が人気でした。今年はコロナウイルスの影響で各事業所での開催



となりましたが、来年の夏祭りはみんなで集まって開催できることを願っています。

(昭和学園 藤野)

浜千鳥

令和2年7月1日(水)浜千鳥の夏祭りを行いました。今年はコロナウイルス対策のため、事業所単位での開催となりましたが、例年通り食券を作り、カレー、ポテト、唐揚げ等を準備して夏祭りの雰囲気を感じたりと味わえるように心がけて行いました。

ゲームはワニ叩き、おぼけ落とし、お菓子が当たるくじ引きなどを行いました。皆各コーナーを笑顔で楽しみながら回っていました。特にワニ叩きでは力いっぱい取り組んでいました。中々満足に外出も出来ないご時世ですが、少しでも季節を感じ、日常の彩りになる事が出来るよう、これからも日々の療育や行事に工



夫を凝らし、支援をしていきます。

(浜千鳥 堀)

宝満

コロナ禍で法人の夏祭りが中止になり、宝満では栄養士と相談し昼食メニューを検討し満足してもらおうよう準備しました。チケットはみんなには内緒で一部の利用者で作成。7月になると、Aさんが「先生、夏祭りは？」と不安な表情で毎日、聞いていました。季節ごとのイベントを楽しみにしている利用者にとって中止になる不安は大きいようで、宝満ミニ夏祭りとして題してポスターを掲示すると、みな目を輝かせて観ていました。平日の昼食は模擬店メニュー(唐揚げ・たこ焼き・焼きそば等)チケットで交換し食べ、週末は縁日、射的やお菓子すくいなどのゲームを楽しみました。終了後、「これで夏祭りが終わりました。よかった」とAさんは満面の笑みを浮かべ職員に言っていました。

コロナ禍でも、施設内で出来るイベントを今後も続ける予定です。

(宝満 中村き)



盆法要を行いました

令和2年8月7日(金) 昭和学園西の丘 祠堂におきまして、盆法要を行いました。

今年はコロナ拡大防止の為、昭和学園・安ら居利用者と職員でソーシャルディスタンスを考慮し、亡きご家族様の供養を厳かに行いました。寶蓮寺ご住職の読経、ご法話を頂き、焼香をして手を合わせ各々のご先祖様に報告をいたしました。又、職員による「ソーラン節」を見た後で輪になって盆踊りをし供養をいたしました。



今年は学園の食堂にて会食をして盆法要の幕を閉じました。各々のご家庭に盆法要、供養の様子を納めた写真を発送し法要の報告をいたしました。

(昭和学園 中村ゆ)

福岡東子ども発達センター起工式

秋日和の9月1日(火)に福岡市東区雁の巣に於いて福岡東子ども発達センター・さくら園の起工式を執り行いました。

地鎮祭は東区奈多集落の北側の松林に囲まれた砂丘上に鎮座する「志式神社」の稲光宮司様よ

り土地の神様を祀り、工事の無事や建物の安全をご祈禱頂きました。

さくら園は国と福岡市から社会福祉施設整備費補助金を受け、建設が進められています。ご参列頂きました福岡市や地元自治会役員の皆様をはじめ、多くの方々にご助力を頂くことで新事業所の立ち上げが順調に進んでおりますことを、改めてこの場をお借りして感謝申し上げます。

今後も工事の安全と無事に建物が完成することを願い、玄洋会3つ目となる児童発達支援センターを皆様にお披露目できる日を待ちわびながら準備を進めてまいります。

(管理課 堀田)

昭和学園運動会

10月7日水曜日さわやかな秋晴れの下、昭和学園の芝生広場にて運動会を行いました。コロナ状況の中で法人全体の運動会は自粛となりました。学園では生活介護の利用者と職員だけで運動会を行う事にしました。初の試みで試行錯誤しての開催となりました。もちろん消毒を徹底して行いました。



玄洋会新入職員紹介

安ら居

宮脇 明美 (世話人)

- ・出身地…宗像市
- ・趣味…フィットネストレーニング、ダンス、ヨガ
- ・前職…高齢者施設調理人
- ・抱負…利用者さんとたくさん楽しい気持ちを共有できるよう頑張ります。

お詫び

第148号(7月号)の記事初出時に誤字がありました。「コロナ過」と記載しておりましたが、正しくは「コロナ禍」となりますので当該部分を訂正させていただきました。深くお詫び申し上げます。



(昭和学園 山田ま)

コンパクトな会場でしたが、パン食い競争や借り物競争、黒ひげ落とし、ダンス、応援合戦、リレー、玉入れ等内容は、玄洋会運動会と同じくらしいのポリウムで行いました。青空の下、利用者の皆さんも楽しんでる様子で、たくさん笑顔が見られました。

